

達第三百七十四號

軍艦進水規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第八條第二號中「造船所所在管區ノ鎮守府司令長官」ヲ「造船所所在地ノ警備區所管ノ鎮守府司令長官又ハ警備府司令長官」ニ改ム

第九條第二項中「當該鎮守府司令長官」ノ下ニ「又ハ警備府司令長官」ヲ加フ

(諸例則卷三、五六二頁參照)

達第三百七十五號

昭和四年達第二十七號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「鎮守府司令長官」ノ下ニ「又ハ警備府司令長官」ヲ加フ

達

七三九

0776

参照 昭和四年達第二十七號ハ、驅逐艇等ノ進水ハ鎮守府司令長官ニ於テ軍艦進水規則ヲ斟酌シ施行ノ件ナリ（諸例則卷三、五六四頁）

達第三百七十六號

海軍工員規則第七條、第八條、第十三條、第四十八條及第九十六條中「（旅順要港部工作部ニ在リテハ旅順要港部司令官）」ヲ削ル

昭和十六年十二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

（諸例則卷三、五六四ノ二七頁、會計法規類集三卷一七頁参照）

○正 誤

昭和十六年達第三百二十一號中六五三頁六行目「第十號」ハ「第十二號」ノ誤

0777

達第三百七十七號

明治四十二年達第六十九號中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

霞ヶ浦湖ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

北 浦 白濱、掛崎連結線以南、水原洲吹崎、須賀連結線以北ノ湖面

伊勢灣ノ項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

琵琶湖 大宮川、志那連結線以南ノ湖面

(諸例則卷三、三三八頁参照)

○正 誤

本年達第三百五十一號末尾「附則第二第三項ハ昭和十六年十二月一日ヨリ之ヲ施行ス」ハ「附則第

二號第三項ハ昭和十六年十二月十五日ヨリ之ヲ施行ス」ノ誤

達

七四一

0778

達第三百七十八號

海軍技術中尉及技術少尉候補生實務練習規則左ノ通定ム

昭和十六年十二月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍技術中尉及技術少尉候補生實務練習規則

第一條 本則ハ海軍造船中尉、造機中尉、造兵中尉、造船少尉候補生、造機少尉候補生及造兵少尉候補生（以下技術中尉及技術少尉候補生ト稱ス）ノ實務練習（以下實習ト稱ス）ニ關スルコトヲ規定ス

第二條 實習ノ目的ハ技術中尉及技術少尉候補生ヲシテ軍人精神ヲ涵養シ體力ヲ練習スルト共ニ海軍軍事及技術一般ニ關スル概念ヲ會得セシメ以テ技術ニ従事スル士官タルノ基礎ヲ完成セシムルニ在リ

第三條 技術中尉及技術少尉候補生ヲシテ海軍軍事一般ニ關スル概念ヲ會得セシムル爲海軍砲術學校ニ於テ約三箇月間講習ヲ受ケシム

第四條 技術中尉及技術少尉候補生ヲシテ技術ノ習得及工場管理ノ一般ヲ知得セシムル爲海軍工作

達

七四三

0779

應及燃料廠（以下工作廳ト稱ス）ニ於テ約六箇月間（航空關係ハ約四箇月間）實習セシム
實習ヲ基本實習及應用實習（各約三箇月間、航空關係ハ各約二箇月間）ニ分チ其ノ實習中ニ於ケ
ル配屬區分ハ概ネ別表第一ニ依ルモノトス

第五條 技術中尉及技術少尉候補生ヲシテ海上勤務ノ經驗ヲ得シムルト共ニ船體、兵器及機關ノ諸
裝置及構造竝ニ其ノ使用狀況ヲ知得セシメ以テ用兵上ノ要求ヲ諒解シ計畫者又ハ製造者トシテ必
要ナル識見ノ素地ヲ涵養セシムル爲艦隊ニ於テ約八箇月間乘艦實習セシム

乘艦實習ヲ第一回及第二回（各約四箇月間）ニ分チ其ノ乘艦實習中ニ於ケル乘艦區分ノ標準ハ概
ネ別表第二ニ依ルモノトス但シ實施期間ハ狀況ニ依リ之ヲ短縮スルコトヲ得

第六條 造兵中尉及造兵少尉候補生（航空關係）ヲシテ飛行機操縦術ノ初歩、整備一般竝ニ航空機
用諸兵器ノ構造及其ノ使用法一般ヲ修得セシムルト共ニ航空思想ヲ涵養セシムル爲海軍練習航空
隊ニ於テ約二箇月間實習セシム

第七條 海軍砲術學校、海軍工作廳、艦隊（第一回）又ハ海軍練習航空隊ニ於ケル實習ハ任命ヨリ
引續キ本條ニ掲記スル順序ニ、第二回乘艦實習ハ各科ノ中尉又ハ少尉ノ最終年ニ於テ之ヲ行ハシ
ムルモノトス

0780

狀況ニ依リ造兵中尉及造兵少尉候補生(航空關係)ニハ第二回乗艦實習ヲ課セザルコトヲ得
第八條 海軍砲術學校ニ於ケル實習項目左ノ如シ

一 勅諭奉讀及衍義

二 砲術

(イ) 陸戰術

小銃、機銃、拳銃ノ取扱法及射撃、中隊以下ノ陸戰教練、陸戰術初歩

(ロ) 艦砲

中小口径砲類兵器、同操法及取扱法、砲塔砲概要、彈丸、火藥、火工兵器、化學兵器、射撃
指揮要具、測的兵器及測的術、探照燈及照射術、射擊學、射擊術、艦砲教練、艦砲射撃、砲
術訓練法ノ要領

三 水雷術

(イ) 魚雷

魚雷兵器、縱舵機、發射機、發射指揮要具、發射法、雷擊法

(ロ) 機雷

達

七四五

0781

- 機雷兵器、掃海兵器、對潛兵器、敷設法、掃海法
- (六) 潜水艦
 - 潜水艦機構一般、使用法
- 四 通信術
 - 無線通信兵器、無線通信法、祕密通信法
- 五 航空術
 - 各種航空機、航空機用兵器、同乘飛行
- 六 航海術
 - (イ) 航海
 - 航海兵器、操艦法、行船法、海洋學、氣象學
 - (ロ) 信號
 - 信號法、信號兵器及器具
 - (ハ) 見張
 - 見張法、見張兵器

0782

- 七 機關術
 罐、蒸氣「タービン」、補助機械、内火機關、電力機關
- 八 工作術
 金屬及木具工業大意、應用工作、注排水法、潜水術
- 九 運用術
 造船大意、船體構造、應急防禦法ノ大要
- 十 戰術
 基本戰術、砲戰術、水雷戰術、航空戰術、海戰ノ要領
- 十一 軍制
 - (イ) 軍制
 軍制大意、海軍組織、艦船職員服務規程、艦内編制令、軍艦外務令、軍艦例規、艦隊行動、戰技、演習、檢閲、海軍服制、海軍服裝令、海軍禮式令、海軍旗章令等
 - (ロ) 法制
 法ノ性質、憲法大意、海軍刑法及海軍懲罰令大意、國際法大意

達

七四七

0783

(ハ) 會計經理

豫算、糧食、被服、需品、庶務、會計

(ニ) 衛生

艦内衛生一般

十二、體育

體操、武技、銃劍術、水泳、短艇撈漕等

十三、見學

橫須賀及東京所在ノ海軍官廳及民間工場

第九條 海軍工作廳ニ於ケル基本實習項目左ノ如シ

一 造船科、造機科及造兵科共通實習項目

(イ) 工場管理

工作應組織一般、工場管理大要、工務規則、工員規則、工作廳ニ於ケル會計經理ノ大要

(ロ) 設計及製圖

工作圖面ノ見方、設計製圖法ノ大要

0784

(ハ) 検査

度量衡器、材料等ノ検査作業

(ニ) 見學

必要ナル部内工場及民間工場

二 専修特別實習項目

(イ) 造船科

現圖作製作業、型取作業、野書作業、鋼材加工組立作業、船體中心検査作業、鋸打作業、填隙作業、電氣熔接作業及之ヲ検査作業、機械作業、仕上作業、鍛冶作業、銅工作業、木工工作業、鐵工作業、艦船出入渠作業、船具作業、帆布作業、綱具作業、塗粧作業、艦船艦裝工事作業

(ロ) 造機科(機關)

木型作業、鑄造作業(鑄鐵、鑄鋼及各種合金)、各種熔解爐操業法、鍛鋼品鍛造及熱處理作業、非鐵合金鍛造作業、パネ製作作業、填隙作業、板曲グ及管擴作業、電氣熔接作業、瓦斯熔接作業、罐組立作業、煙路煙突組立作業、銅工作業、心出作業、各種工作機械切削作業、

達

七四九

0785

切削工具治具及グーシ製作作業、工作機械検査法、タービン機械仕上組立作業及陸上試験法、
 内火機械仕上組立及陸上試験法、減速装置仕上組立作業、復水器組立作業、艦船軸系仕上組
 立及裝備作業、主要補助機械仕上組立及陸上試験法

(一) 造機科 (燃料採鑛)

蒸溜作業、分解作業、水添作業、重合作業、瓦斯製造、精製作業、潤滑油製造作業、耐爆劑
 製造取扱作業、觸媒製造作業、人造石油製造作業、分析作業、試験検査作業、採鑛作業、選
 炭作業、煉炭製造作業

(二) 造兵科

木型作業、鑄造作業 (合金及鑄鐵)、鑄鋼作業、鍛造作業、熱處理作業、パネ製作作業、銅工
 作業、各種鑄附作業、構鋼作業、熔接作業、鋸打作業、各種機械作業、仕上作業、電気機器
 取扱及検査作業、工具製作作業、グーシ類製作作業、製品検査作業

第十條 海軍工作應ニ於ケル應用實習項目左ノ如シ

- 一 專修特科ニ關スル計畫、造修及検査ノ實習及見學
- 二 專修特科ニ關係深キ作業ノ研究

0786

第十一條 海軍工作應ニ於ケル實習ハ狀況ニ依リ之ヲ基本實習及應用實習ニ區分スルコトナク一貫シタル實習計畫ニ依リ實習セシムルコトヲ得

第十二條 艦隊ニ於ケル乘艦實習項目左ノ如シ

一 造船科、造機科及造兵科共通項目（主トシテ見學ニ依リ研究セシムルモノ）

(イ) 運用術

出入港作業、重要物積卸作業、艦内保存手入法、防火防毒防水及排水裝置、通風裝置、船體

艦裝一般、載荷及貯藏法、荒天準備法、曳航作業

(ロ) 航海術

艦位實測及推定法、氣象海流及潮流ノ概要、錨地選定法、運動力檢測法、艦船操縱、陣形運

動、見張法、兵裝一般

(ハ) 砲術

砲戰教練、測的法、照射法、艦砲射擊、彈藥供給法、通信裝置、兵裝一般

(ニ) 水雷術

發射法、掃海法、投射法、測的法、通信裝置、兵裝一般

達

七五二

0787

- (ホ) 通信術
通信法、信號法、兵裝一般
- (ヘ) 機關術
主機械、罐、捕機、電機、配電法
- (ト) 工作術
艦内工作、應急作業
- (チ) 航空術
發著法、使用法
- (リ) 部署及法令
軍艦部署、内規、戰技、演習
- 二 專修特科ニ應ジ實習セシムベキ項目(主トシテ實地ニ研究セシムベキモノ)
 - (イ) 造船科
船體及艦裝品ノ狀況、居住設備及倉庫一般、舵取裝置、船體船具保存手入法、船具取扱法、
出入港作業、錨作業、錨運搬法、繫留法、曳船被曳船法、荒天準備法、防火防水防毒及注排

0788

水裝置、應急處置、清水管海水管等ノ諸裝置、載荷及貯藏法、通風裝置、揚艇裝置、短艇取扱法、艦内各部ノ振動及耐波ノ狀況、艦内工作

(Ⅱ) 造機科 (機關)

機關各部ノ狀況、機關指揮裝置、諸管裝置、主機械、輔、補機及關聯諸裝置ノ整理、操縱法、試驗檢査法、機關效力發揮法及應急處置法、機關故障ノ原因及處置、防火防水防毒及注排水裝置、通風裝置、舵取機械、冷却機械、揚錨機械及揚艇機械使用法、機動艇機械操縱法、艦内工作

(Ⅲ) 造機科 (燃料探鑛)

機關各部ノ狀況、機關指揮裝置、諸管裝置、主機械、輔、補機及同關聯裝置ノ整理、操縱法、試驗檢査法、機關效力發揮法、燃料潤滑油ノ使用法、燃料潤滑油ノ補給保管法、發動機ノ整備一般、船體艙裝品及艦營需品一般

(Ⅳ) 造兵科 (砲煩)

砲銃、彈火藥庫、彈藥供給裝置、動力裝置、砲戰指揮裝置、砲煩兵器ノ保存手入法、射法、砲戰教練、測的法、照射法、射擊、通信指揮裝置、艦内工作

達

七五三

0789

(ホ) 造兵科 (冶金)

船體兵器機關ノ使用金屬材料、エロージョン、コロージョン其ノ他ニ依ル金屬材料ノ故障調査、振動又ハ衝撃ヲ受クル箇所ニ使用ノ金屬材料、重量軽減ヲ目的トスル熔接及輕合金使用
狀況

(ヘ) 造兵科 (光學)

砲戰教練、測的法、見張法、砲戰及水雷戰指揮裝置(光學部分)、見張裝置、各種光學兵器ノ取扱及保存手入法

(ト) 造兵科 (魚雷)

魚雷及縱舵機ノ調整及取扱法、發射機取扱法、水雷戰指揮裝置、魚雷發射、魚雷戰空氣系諸裝置、水雷兵器ノ保存手入法、艦内工作

(チ) 造兵科 (機雷)

機雷、掃海及對潛兵器ノ取扱法、掃海法、艦内工作

(リ) 造兵科 (航海)

艦位實測及推定法、氣象觀測法、天測法、海流及潮流ノ概要、航海兵器ノ使用及保存手入法

0790

- (ヌ) 造兵科 (一般電気、蓄電池)
 一次二次電源装置及配電法、各種指揮通信装置、艦内通信法、電気動力装置、照射装置、電
 氣信號装置、照明装置、電氣兵器ノ使用並ニ保存手入法、艦内工作、無線及音響關係諸装置
 ノ概要
- (ル) 造兵科 (無線)
 無線送受信装置、無線電話装置、方位測定装置其ノ他無線兵器、無線用電源装置、通信指揮
 及管制装置、各種無線兵器ノ使用及保存手入法、音響及一般電気關係諸装置ノ概要
- (ヲ) 造兵科 (音響)
 水中聽音装置、水中通信装置、探信装置、音響測深装置、各種音響兵器ノ使用及保存手入法、
 無線及一般電気關係諸装置ノ概要
- (ワ) 造兵科 (航空)
 各種飛行機、航空用諸兵器、母艦發著装置及射出機其ノ他航空關係施設一般、飛行機ノ使用
 法、飛行機整備法、艦内工作
- (カ) 造兵科 (火藥、火工化學兵器)

達

七五五

0791

火藥、爆藥及火工兵器並ニ化學兵器ノ供給取扱及保存法、艦内防毒裝置、射法、砲戰教練、射撃

第十三條 海軍練習航空隊ニ於ケル實習項目左ノ如シ

一 飛行機操縦

初度練習機ヲ單獨操縦シ得ル程度

二 整備

搭載兵器、機體及發動機ノ整備一般

第十四條 海軍砲術學校長及工作廳長ハ部下職員中ヨリ技術中尉又ハ技術少尉候補生指導官ヲ命ジ

實習ヲ指導セシメ實習終了シタルトキハ其ノ都度其ノ指導計畫及實施經過ニ所見ヲ附シ海軍大臣

ニ報告スベシ

第十五條 候補生採用前工場實務ニ經驗ヲ有スル者ニ在リテハ其ノ程度ニ應ジ工作廳ニ於ケル實習

期間ヲ適宜短縮シ之ニ該當スル期間艦船ニ乗組ミ造船、造機、造兵又ハ燃料上必要ナル事項ヲ實

地研究セシムルコトアルベシ

工作廳長ハ部下候補生中前項ノ規定ニ依ルヲ適當ト認ムル者アルトキハ海軍艦政本部長、海軍航

0792

空本部長又ハ海軍省軍需局長ニ通報スベシ

附則

海軍造船中尉、造機中尉、造兵中尉實務練習規則及海軍造船少尉補候生、造機少尉候補生、造兵少尉候補生實務練習規則ハ之ヲ廢止ス

(別表二葉添)

(諸例則卷三、八九二頁參照)

達

七五七

0793

別表第二

乗艦實習中に於ケル乗艦區分標準（數字ハ乗艦日數ヲ示ス）

（昭和十六年達第三百七十八號）

造 艦 科										第一回乗艦實習		第二回乗艦實習					
航	蓄	音	無	航	機	砲	探	燃	機	艦力主	母航	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
空	池	響	線	海	雷	兵	鏡	料	關								
15	25	20	30	20		50	30	30	40	艦力主	母航	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
30	10	10	10		20		30			型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
30										型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
15	25	20	30	30	40	30		30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
				20	20	20		30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
				30	30	30		30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
				40	20			30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
母上機				潛水艦	航空母艦及	及小型驅逐艦	小型巡洋艦	同	航空母艦	要スル艦種	臨時乗艦ヲ						
15																	
	20	15	30	15	15	30	30	30	30	艦力主	母航	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
		15	15			15	30	30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
	20	30	40	30	30	30	30	30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
	20	30	15	30	30	15	30	30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
	60	30	20	30	30	15	30	30	30	型大	型小	艦空	艦巡	艦驅	艦潛	要スル艦種	臨時乗艦ヲ
			小型巡洋艦	同	航空母艦及	及小型驅逐艦	小型巡洋艦	同	潛水艦	要スル艦種	臨時乗艦ヲ						

0795

備考

- 一 專修特別ニ應ジ最モ關係深キ戰技、演習等ノ作業ヲ爲ス艦種ニ配乗セシムル如ク計畫ス
- 二 出動艦船ニハ機會アル毎ニ乗艦見學セシムルモノトス
- 三 同一專修特別ノ者ハ同時ニ同一艦ニ乗艦セシムルヲ例トス
- 四 乗艦日數短キ場合ハ便乗ノ形式ト爲スモノトス
- 五 一印ハ艦種ヲ區別セズ適當ナル一艦ニ乗艦セシムルモノトス
- 六 第一回乗艦實習ハ艦隊前期訓練期間中、第二回乗艦實習ハ艦隊後期訓練期間中乗艦セシムルモノトシ艦隊ノ所屬軍港出港前乗艦、所屬軍港歸投後退艦セシムルヲ例トス

達第三百七十九號

海軍武官任用進級取扱規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第三十一條中「任用令第二十三條」ノ下ニ「第二十三條ノ二」ヲ加フ

(諸例則卷二、一七〇頁參照)

達

七五九

0796

達第三百八十號

海軍工作廳工事費整理規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 鳴田繁太郎

第四條第一項第一號ノ(一)中「航空關係ニ在リテハ海軍艦政本部長及海軍航空本部長」ヲ「(航空關係ニ在リテハ海軍航空本部長但シ海軍艦政本部造修主務ニ屬スルモノニ在リテハ海軍艦政本部長及海軍航空本部長)」ニ改ム

第五條第三項中「(航空關係ニ在リテハ海軍艦政本部長及海軍航空本部長)」ヲ「(航空關係ニ在リテハ海軍航空本部長)」ニ改ム

第六條第四項中「(航空關係ニ在リテハ海軍艦政本部長及海軍航空本部長)」ヲ「(航空關係ニ在リテハ海軍航空本部長)」ニ改ム

第四十三條表工事費月報ノ項提出先ノ欄中「海軍艦政本部長」ヲ「海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長」ニ、豫算現況月報ノ項提出先ノ欄中「右同」ヲ「海軍艦政本部長」ニ、附屬費月報ノ項提出先ノ欄中「右(海軍航空技術廠長ハ尙海軍航空本部長)」ヲ「海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長」ニ

達

七六一

0797

改ム

第四十四條表海軍部内受託工事費年報ノ項提出先欄中「右同」ヲ「海軍艦政本部長又ハ海軍航空本部長」ニ改メ附屬費年報ノ項提出先ノ欄中「海軍航空技術廠長ハ尙海軍航空本部長」ヲ削リ監督諸費年報ノ項提出先ノ欄中「海軍艦政本部長」ヲ「右同」ニ改ム

第九號書式備考第四號中「海軍航空技術廠ニ在リテハ尙別ニ海軍航空本部」ヲ「又ハ海軍航空本部」ニ改ム

第二十號書式備考ニ左ノ一號ヲ加フ

七航空關係工作應ニ在リテハ本年報ノ寫「通ヲ海軍航空本部ニ送付スルモノトス

第三十三號書式甲備考第六號中「艦政本部」ヲ「艦政本部又ハ航空本部」ニ改ム

(海軍會計法規類集三卷八九頁參照)

達第三百八十一號

僻地在勤手當支給規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

0798

別表中

佐	官	月額 三十圓	月額 二十二圓
---	---	--------	---------

將	官	月額 四十圓	月額 三十圓
佐	官	同 三十圓	同 二十二圓

一	等	兵
一	等	兵

ニ改ム

附則

本令ハ昭和十六年十月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

達第三百八十二號

海軍共濟組合規則施行細則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月九日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第一條第三項ヲ左ノ如ク改ム

海軍航空廠支廠、海軍航空技術支廠及旅順警備府港務造ハ各廳ニ準ズ

達

七六三

0799

達

(會計法規類集三卷一四一頁參照)

七六四

0800

達第三百八十三號

海軍共濟組合諮問委員會規程ハ之ヲ廢止ス

附 則

本達ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

昭和十六年十二月十日

海 軍 大 臣 嶋 田 繁 太 郎

○正誤

昭和十六年達第三百六十三號末尾ニ「第九條中「第三號」ヲ「第四號」ニ改ム」ヲ脱シ、同第三百六十七號第一條中「本規別」ハ「本規則」ノ誤

達

七六五

0801

達第三百八十四號

海軍臨時増給支給規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十一日

海軍大臣 嶋田繁太郎

別表ヲ別表ノ如ク改ム

附 則

本達ハ昭和十六年十二月一日以後ノ給與ニ付之ヲ適用ス

(別紙一葉添)

(海軍會計法規類集二卷五八〇頁參照)

達

七六七

0802

(昭和十六年達第三百八十四號別表)

國 別	昭和十六年十二月及昭和十七年一月	
	在勤加俸増給率	在勤加俸以外ノ給與増給率
英 國	〇、四五	〇、五五
米 國	〇、七六	〇、八六
佛 國	〇、一一	〇、二〇
英 領 印 度	〇、四五	〇、五八
獨 逸	一、九七	二、〇七
伊 太 利	〇、七七	〇、八七
諸 威 威	〇、五〇	〇、六三
瑞 士	一、一三	一、三二
蘇 聯 邦	三、〇〇	三、三五
丁 抹 邦	〇、二八	〇、三九
芬 蘭	〇、四二	〇、五五
和 蘭	一、三四	一、五四
白 耳 義	一、〇四	一、二一
瑞 典	〇、五八	〇、七二
(舊)ラトヴィア	〇、九	一、二〇
(舊)リトアニア	一、三	一、六三
(舊)エストニア	〇、八三	〇、九九
(舊)波 蘭	二、二六	二、四三
(舊)智 恵 古	一、三九	一、六〇
洪 牙 利	一、〇〇	一、二七
羅 馬 尼 亞	〇、四八	〇、六〇
ユーゴスラヴィア	一、〇一	一、一九
物 牙 利	一、九九	二、二五
希 臘	〇、〇六	〇、一五
葡 萄 牙	〇、六四	〇、七八
加 奈 陀	〇、五七	〇、七〇
玖 馬	〇、七五	〇、九一
古 倫 比 亞	〇、〇四	〇、一三
秘 露	〇、〇一	〇、〇九
亞 爾 然 丁	一、	〇、〇八
々、イ	〇、四九	〇、六一
蘭 領 印 度	一、三五	一、五五
海 峽 植 民 地	〇、四六	〇、五九
土 耳 吉	一、五三	一、七五
伊 蘭	一、二二	一、三二
埃 及	〇、四七	〇、六〇
英 領 南 阿 弗 利 加	〇、四六	〇、五八
南 阿 聯 邦	〇、四五	〇、五八
濠 州	〇、二六	〇、二六
新 西 蘭	〇、二七	〇、二七
比 律 賓	〇、七六	〇、九一
ナルヴゲドル	〇、四一	〇、五四
コスタリカ	〇、二六	〇、三七
ヴェネズエラ	一、五三	一、七五
ダンチツヒ	〇、四八	〇、六一

備考

一、「イラーク」、「バレスタイン」、「トランスヨルダン」、「ケニア植民地」、英領西阿弗利加、「タ
 ンガンイカ」、「ジャマイカ」及「トリニダード」ハ英國、「シリア」、佛國保護領「モロッコ」、
 佛領「チュニス」、佛領「アルジェリア」、佛領西阿弗利加、佛領「ソマリアランド」及佛領
 「ニユーカレドニア」ハ佛國、「エチオピア」、伊領「リビア」及伊領「エリトリア」ハ伊太利、
 蘭領「キエラント島」ハ和蘭、「リュクサンブール」及自領「コンゴ」ハ白耳義、葡領「テ
 イモール島」及葡領「モザンビック」ハ葡萄牙、「アラスカ」、「ホルトリコ」、「バナマ」、「ハ
 イチ」、「サントドミンゴ」、「グアテマラ」、「ホンデウラス」及「ニカラグア」ハ米國、埃及
 「スダン」ハ埃及、西南阿弗利加ハ南阿聯邦、「アンガニスタン」及「ネパール」ハ英領印度、
 英領「ボルネオ」ハ海峽植民地ニ對スル増給率ニ依ル

二、(舊)智恵古トハ獨領「ボヘミア」、「モラヴィア」地方ヲ謂フ

達第三百八十五號

海軍共濟組合購買所規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

「第三章 評議員會及諮問委員會」ヲ「第三章 削除」ニ改ム

第十八條乃至第二十四條 削除

附 則

本達ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(海軍會計法規類集三卷一五九頁參照)

達第三百八十六號

海軍共濟組合病院規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十二日

海軍大臣 嶋田繁太郎

達

七六九

0804

達

「第三章 評議員會及諮問委員會」ヲ「第三章 削除」ニ改ム
第二十一條乃至第二十七條 削除

附 則

本達ハ昭和十七年二月一日ヨリ之ヲ施行ス

(海軍會計法規類集三卷一八三頁參照)

七七〇

0805

達第三百八十七號

支那方面艦隊ノ鹵獲セル米國軍艦「ウエーク」ヲ帝國軍艦籍ニ編入シ左ノ通命名ス

Wobbe

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

砲艦 多多良 (タタラ)

達第三百八十八號

海軍軍醫學校規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十條中「若ハ藥劑大尉」ヲ、「藥劑大尉若ハ齒科醫大尉」ニ、「若ハ藥劑科士官」ヲ、「藥劑科士官若ハ齒科醫科士官」ニ改ム

(海軍諸例則卷一、五九二頁参照)

達第三百八十九號

海軍艦政本部處務規程中左ノ通改正ス

達

七七一

0806

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第十一條第二號中「砲熷部」ノ下ニ「光學關係ヲ除ク」ヲ加フ

第十二條第二號中「水雷部」ノ下ニ「航海關係ヲ除ク」ヲ加フ

第十五條ノ二第二號中「造兵部（航海及光學關係）」ノ下ニ「砲熷部（光學關係）、水雷部（航海關係）、光學部」ヲ加フ

（諸例則卷一、一一七頁参照）

○訂正

昭和十六年達第三百七十八號別表第一中「專習特別技術少尉候補生」トアルヲ「專習特別」ト
訂正

0807

達第三百八十八號

燃料試驗規格中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十五日

海軍大臣 嶋田 繁太郎

海軍煉炭ノ項ヲ左ノ如ク改ム

海軍	一〇〇	以上	一五〇	以下	四〇	以下	二五	以下	一五〇	以下	六五〇	乃至	七〇〇	以下	五〇〇	以上
煉炭																

(前送ノモノノ上ニ貼付相成度)

0808

達第三百九十號

海軍工務規則中左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十六日

海軍大臣 嶋田繁太郎

第二條及第五條中「海軍工作部及旅順要港部工作部」ヲ「及海軍工作部」ニ改ム

第四條及第二十六條中「(旅順要港部工作部ニ在リテハ旅順要港部司令官)」ヲ削ル

第十四條中「海軍工作部又ハ旅順要港部工作部」ヲ「又ハ海軍工作部」ニ、「海軍工作部長又ハ旅順要港部司令官」ヲ「又ハ海軍工作部長」ニ改ム

第十九條第二項ヲ削ル

第二十條中「(旅順要港部工作部長ヲ除ク)」ヲ削ル

第二十一條第二項ヲ削ル

(諸例則卷三、五六四ノ一頁參照)

達

七七三

0809

達第三百九十一號

昭和十五年度及昭和十六年度ニ於テ建造ニ着手ノ驅逐艦一隻、潜水艦一隻、驅潜艇二隻及敷設艇一隻ニ左ノ通命名ス

昭和十六年十二月十七日

海軍大臣 嶋田繁太郎

株式會社藤永田造船所ニ於テ建造

一等驅逐艦 長波 (ナガナミ)

川崎重工業株式會社ニ於テ建造

伊號第百七十七潜水艦

日本鋼管株式會社鶴見造船所ニ於テ建造

第二十八號驅潜艇

株式會社玉造船所ニ於テ建造

第三十號驅潜艇

浦賀船渠株式會社ニ於テ建造

達

七七五

0810

達

第三號敷設艇

七七六

0811

達第三百九十二號

海軍軍醫科士官服務規則左ノ通改正ス

昭和十六年十二月十八日

海軍大臣 嶋田繁太郎

海軍軍醫科士官服務規則

第一章 總則

第一條 本則ハ海軍軍醫科士官ノ服務ニ關スルコトヲ規定ス

第二條 本則中鎮守府軍醫長ニ關スル規定ハ艦隊軍醫長（聯合艦隊軍醫長ヲ含ム）、警備府軍醫長

又ハ艦隊ノ醫務衛生ニ關スルコトヲ掌ル軍醫科士官ニ之ヲ準用ス

第三條 聯合艦隊軍醫長ハ必要ニ應ジ聯合艦隊所屬ノ艦隊軍醫長ヨリ所要ノ書類ヲ徵スルコトヲ得

第四條 本則中各廳ノ軍醫長ニ關スル規定ハ軍醫長ヲ置カレザル各廳ノ醫務衛生ニ關スルコトヲ掌

ル軍醫科士官ニ之ヲ準用ス

第五條 鎮守府ニ屬セザル應ノ軍醫長ハ本則中鎮守府軍醫長ニ送付スベキ書類ハ之ヲ醫務局長ニ送

付スルモノトス

達

七七七

0812

前項ノ廳軍港内ニ在ルトキハ當該鎮守府ノ軍醫長ニ之ヲ送付スルモノトス

第二章 鎮守府軍醫長

第六條 鎮守府軍醫長ハ鎮守府所屬各廳全般ノ所屬患者月表(第四十四様式)ヲ調製シ入院患者月表(第四十様式)ト共ニ翌月末日迄ニ所屬長官ニ之ヲ提出スルモノトス

第七條 鎮守府軍醫長ハ鎮守府所屬各廳全般ノ醫事年報(第四十三様式)ヲ調製シ翌年二月末日迄ニ所屬長官ニ提出スルト出ニ醫務局長ニ之ヲ送付スルモノトス

第八條 鎮守府軍醫長ハ左ノ書類ヲ審査シ醫務局長ニ之ヲ送付スルモノトス

- 一 患者月報
- 二 工員鑛員官役人夫供給勞働者患者月報
- 三 入院患者月報
- 四 入院患者週報
- 五 體重表
- 六 身體檢査成績表
- 七 診斷書

0813

- 八 死亡診断書
- 九 死體檢案書
- 十 死體檢案記録
- 十一 剖檢記録
- 十二 豫防接種成績報告
- 十三 傳染病發生報告
- 十四 病狀報告(特務士官准士官ヲ除ク)
- 十五 部外委託患者報告
- 十六 部外委託患者轉歸報告
- 十七 醫事報告
- 十八 衛生歴及其ノ訂正追加報告
- 十九 病院年報
- 二十 入院患者費表
- 二十一 戦時醫事月報

達

七七九

0814

二十二 戦時醫事報告

二十三 戦闘醫事報告

三十四 戦役中醫務科員以下異動表

第九條 鎮守府軍醫長ハ其ノ管内ニ於テ准士官ニ進級シタル者及共ノ現役ヲ去リタル者ノ身體歴竝ニ特務士官以下ノ航空機搭乗者ニシテ搭乗配置ヲ去リタルモノノ海軍航空機搭乗者搭乗身體検査證、海軍航空機操縦者適性身體検査證及海軍航空機搭乗者定期（臨時）身體検査證ヲ保管スルモノトス

第十條 鎮守府軍醫長ハ戦時事變ニ際シテハ時々戦闘部隊ノ衛生狀況及戦闘負傷者ノ狀況ヲ所屬長官ニ報告シ又戦死傷者（負傷者ハ戦闘ニ堪フル者ト堪ヘザル者トヲ區別ス）中准士官以上ハ官氏名、下士官以下ハ其ノ員數ヲ戦闘後直ニ所屬長官ニ報告スルト共ニ醫務局長ニ通報スルモノトス

第十一條 鎮守府軍醫長ハ鎮守府所屬各廳全般ニ亘ル戦時醫事報告（第三十五様式）ヲ調製シ曆年毎ニ醫務局長ニ送付スルモノトス

第十二條 鎮守府軍醫長ハ第七十六條ノ規定ニ依リ還納シ來リタル醫務書類ハ第七十七條ノ規定ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

0815

第十三條 各鎮守府軍醫長ハ互ニ氣脈ヲ通シ重要事項ハ交互之ヲ通報シ努メテ事務ノ齊一ヲ圖ルモノトス

第三章 海軍病院長

第十四條 院長ハ入院患者ヲ入院患者目録(第九様式)ニ登載スルモノトス

第十五條 院長ハ毎日海軍病院處務規程第三十一條ノ病院醫事日誌(第二様式)ヲ査閱スルモノトス

第十六條 院長ハ毎月ノ入院患者實數及延數ヲ翌月月頭速ニ(遠隔ノ地ニ在リテハ電報)醫務局長

ニ通報スルモノトス

第十七條 院長ハ左ノ書類ヲ調製シ各下記ノ期日迄ニ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

- 一 入院患者週報(第三十九様式) 二通 毎月曜日
- 二 入院患者月報(第十二様式) 二通 翌月十五日
- 三 入院患者月表(第四十様式) 一通 翌月十五日
- 四 入院患者費表(第四十一様式) 二通 翌年五月末日
- 五 病院年報(第四十二様式) 一通 翌年一月末日

達

七八一

0816

第十八條 院長ハ士官、候補生、高等文官及同待遇者入院シタルトキ又ハ入院中病狀ニ著シキ變化ヲ起シタル場合ニハ病狀報告(第二十一様式)ヲ調製シ醫務局長ニ通報スルモノトス

第十九條 院長ハ入院患者死亡シタルトキハ死亡診斷書(第二十様式)ヲ調製シ二通(公務ニ原因シタル者ニ在リテハ三通)ヲ死亡者ノ所轄長ニ、一通ヲ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

第二十條 院長ハ海軍病院處務規程第十七條ノ規定ニ依ル診斷書(第二十二様式)ハ一通(公務ニ原因シタル者ニ在リテハ三通)ヲ患者ノ在籍ノ鎮守府司令長官ニ提出又ハ送付スルト共ニ一通ヲ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

第二十一條 院長ハ戰時ニ在リテハ戰時醫事報告(第三十五様式)ヲ調製シ曆年毎ニ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ之ヲ送付スルモノトス

第二十二條 院長ハ戰役終了後直ニ戰役中醫務科員以下異動表(第三十八様式)ヲ調製シ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ之ヲ送付スルモノトス

第二十三條 院長ハ衛生歴(第三十二様式)ヲ調製シ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付シ爾後掲載事項中變更、追加等ヲ要スルトキハ特ニ期日ヲ定メタル事項ノ外其ノ都度之ヲ送付スルモノトス

第二十四條 院長ハ海軍病院處務規程第二十七條ノ傳染病診定報告(第十四様式)ハ速ニ患者入院

0817

當時ノ所轄長及所屬鎮守府ノ軍醫長ニ之ヲ送付スルモノトス

第四章 各廳ノ軍醫長及軍醫科士官

第一節 診療醫務

第二十五條 軍醫長ハ毎日診察簿(第七様式)ニ依リ患者ヲ診療シ症狀ノ輕重ニ應ジ就業、輕業又ハ休業(入室ヲ含ム)ニ區別スルモノトス

第二十六條 軍醫長ハ患者毎ニ患者日誌(第三様式)(海軍工作廳及海軍燃料廠ノ工具、鑛員、官役人夫又ハ供給勞働者ニ對シテハ患者要誌(第四様式)ヲ調製シ又必要ニ應ジ体温表(第五様式)及處方箋(第六様式)ヲ調製スルモノトス

第二十七條 軍醫長ハ受療患者中休業ヲ要スル者及輕業又ハ就業受療日數三日以上ニ亘ル見込ノ者ハ患者目録(第八様式)ニ登載スルモノトス

第二十八條 軍醫長ハ患者ヲ部内ノ病院ニ送ラントスルトキハ其ノ員數、病名(病名未定ノ者ハ何病ノ疑)及日時ヲ豫報スルモノトス

第二十九條 軍醫長ハ患者ヲ部内ノ病院ニ送ルトキ、送院ノ爲他艦船ニ便乗セシムルトキ又ハ治療若ハ隔離ノ爲他艦船ニ委託スルトキハ同時ニ身體歴ヲ送付シ身體歴ナキ場合ニハ病歴書(第十七

達

七八三

0818

様式)ヲ送付スルモノトス病院ニ在リテハ轉院スル場合亦同ジ

軍醫長ハ一時ニ多數ノ患者ヲ病院ニ送ラントスルトキハ患者票ヲ使用スルモノトス病院ニ在リテ
轉院スル場合亦同ジ

第三十條 軍醫長ハ患者ヲ部外ノ病院等ニ委託スルトキハ同時ニ病歴書(第十七様式)ヲ送付シ該
患者退院又ハ轉院シタルトキハ其ノ經過、處置、轉歸等ヲ詳記セル病歴書ヲ、死亡シタルトキハ
速ニ其ノ旨通知スルト同時ニ死亡診斷書三通(公務ニ原因シタル者ニ在リテハ四通)及病歴書
ヲ、又傳染病ト診定シタルトキハ速ニ傳染病診定報告ヲ患者所轄ノ軍醫長ニ送付スルヲ要スル旨
豫メ該病院等ニ照會シ置クモノトス

軍醫長ハ患者ヲ部外ニ通ヒ治療ヲ委託スルトキハ其ノ經過、處置、轉歸等ヲ通報スベキ旨主治醫
ニ照會シ置クモノトス又部外委託中ノ患者轉轄スルトキハ其ノ旨該病院等ニ通知スルモノトス

第三十一條 軍醫長ハ患者ヲ部外ノ病院等ニ委託スルトキハ即日部外委託患者報告(第十八様式)
ヲ、同患者退院、轉院、死亡、轉轄等スルトキハ部外委託患者轉歸報告(第十九様式)ヲ所屬ノ
鎮守府ノ軍醫長及委託地所管鎮守府(海軍志願兵徵募區ニ依ル)ノ海軍病院長(外國關東州)ニ在リ
テハ患者所屬鎮守府ノ海軍病院長)ニ送付シ其ノ寫ヲ關係ノ軍醫長ニ送付スルモノトス但シ朝

0819

鮮、臺灣及關東州ニ在リテハ佐世保海軍病院長、樺太及南洋群島ニ在リテハ横須賀海軍病院長ニ之ヲ送付スルモノトス

所屬部隊ノ一部軍醫科士官ナキ地ニ派遣セラレタル場合ニ於テ其ノ治療ヲ部外ノ病院等ニ委託スルトキハ軍醫長ハ該部隊長ノ通報ニ依リ前項ノ規定ニ準ジ處理スルモノトス

第三十二條 軍醫長ハ患者ヲ部内ノ病院ニ送り又ハ部外ノ病院等ニ委託スルトキハ其ノ傷病ヲ左ノ二種ニ區別シ該種別ヲ所轄長ニ報告スルモノトス陸上勤務外宿中又ハ公務出張中傷病ノ爲一週日以上缺勤スル者アルトキ亦同ジ

第一種症 公務ニ原因スル傷病及其ノ後貽症又ハ再發症

第二種症 第一種症ニ非ザル傷病

第三十三條 軍醫長ハ海軍病院、特設海軍病院若ハ特設病院船ニ在院中又ハ部外委託中ノ患者轉轄スルトキハ速ニ患者ノ官職氏名、病院名、傷病名、入院及轉轄年月日ヲ轉轄先軍醫長ニ通報シ部外委託患者ニ在リテハ之ト共ニ身體歴ヲ送付スルモノトス

軍醫長ハ診療中ノ患者轉轄スルトキハ身體歴ト共ニ止療通知ヲ轉轄先ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

達

七八五

0820

第三十四條 軍醫長ハ艦船ニ便乗又ハ臨時乗組ノ他所轄ノ軍人又ハ軍屬ヲ入院セシムルトキハ其ノ官職氏名、傷病名、初診年月日、入院病院名及入院年月日ヲ患者所轄ノ軍醫長ニ通報スルモノトス。假入團ノ者ヲ入院セシメタル場合亦同ジ

第三十五條 軍醫長ハ患者死亡シタルトキハ死亡診斷書(第二十様式)ヲ調製シ二通(公務ニ原因シタル者ニ在リテハ三通)ヲ死亡者ノ所轄長ニ、一通ヲ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス。部外委託患者ノ死亡診斷書ハ前項ノ規定ニ準ジ處理スルモノトス

第三十六條 軍醫長ハ傷病ニ依リ服役ニ堪ヘズト認ムル者アルトキハ之ヲ部内ノ病院ニ送ルモノトス。若シ送院シ難キ場合ニ於テ之ガ診斷ヲ施行スルニ當リ當該軍醫長軍醫少佐以下ナルトキハ軍醫中佐以上ノ臨監ヲ求ムルコトヲ要ス

第三十七條 軍醫長ハ公務ニ因ル傷病又ハ自企的若ハ裁判上ニ涉ルト認ムル傷病ヲ診斷スルトキハ診斷書(第二十二様式)ヲ調製スルモノトス

第三十八條 軍醫長ハ前二條ノ規定ニ依リ調製スル診斷書ハ一通(公務ニ原因シタル者ハ士官ニ在リテハ二通、特務士官以下ニ在リテハ三通)ヲ所轄長ニ、一通ヲ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

0821

第三十九條 軍醫長ハ一時ニ多數ノ傷病者發生シタルトキハ其ノ概況ヲ、不慮ノ災厄ニ因リ死亡者ヲ發生シタルトキハ其ノ官職氏名及傷病ノ概況ヲ速ニ醫務局長及所屬鎮守府ノ軍醫長ニ通報スルモノトス但シ所轄長ヨリ所屬長官及海軍大臣ニ報告アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十條 軍醫長ハ准士官以上、高等文官及同待遇者ニシテ傷病ノ爲入院又ハ引入療養ヲ要スルモノト診斷シタルトキハ其ノ實狀ヲ詳記セル病狀報告(第二十一様式)ヲ調製シ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス

前項ノ場合ニ於テ特務士官及准士官ニ付テハ前項ノ報告ヲ本人在籍ノ鎮守府軍醫長ニ送付スルモノトス

第二節 衛生醫務

第四十一條 軍醫長ハ艦船職員服務規程第三百二十九條ノ規定ニ依リ艦内各部ノ空氣汚濁ノ狀況、換氣、溫度、照明等ニ關スル衛生検査ヲ施行シ其ノ成績ヲ各項ニ分チ衛生検査成績簿ニ記入スルモノトス

第四十二條 軍醫長ハ飲料水ノ水源ヲ質シ其ノ性質ヲ検査シ又水源地ニ於ケル衛生狀況ヲ精細ニ調査シ其ノ成績ヲ衛生検査成績簿ニ記入スルモノトス

第四十三條 軍醫長ハ飲料水ノ性質ヲ検査スルニハ海軍飲料水検査手續ニ依リ之ヲ施行スルモノトス

第四十四條 軍醫長ハ糧食其ノ他飲食品ノ貯藏及保存並ニ被服及寢具ノ適否等ニ注意シ之ガ衛生検査ヲ施行シタルトキハ衛生検査成績簿ニ記入スルモノトス

第四十五條 軍醫長ハ滋養品ヲ要スル患者アルトキハ其ノ品種及數量ヲ主計科士官ニ通報スルモノトス

第四十六條 軍醫長ハ艦船職員服務規程第三百四十六條ノ規定ニ依ル下士官以下乗員ノ健康状態ヲ検査スルトキハ其ノ摘要ヲ衛生検査成績簿ニ記入スルモノトス

艦船部隊以外ノ應ニ在ル下士官及兵ノ健康状態ニ關シテハ前項ノ規定ニ準ズ

第四十七條 軍醫長ハ艦船職員服務規程第三百四十六條ノ規定ニ依ル下士官以下乗員ノ體重秤量ハ

第二本曜日ニ之ヲ行ヒ體重表(第三十様式)ヲ調製シ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ送付スルモノトス
生徒及艦船部隊以外ノ應ニ在ル下士官及兵ノ體重ニ關シテハ前項ノ規定ニ準ズ

第四十八條 軍醫長ハ結核ヲ豫防スル爲常ニ唾壺ノ配備及消毒ニ注意シ呼吸器結核又ハ其ノ疑アル患者ノ唾痰ハ之ヲ消毒シタル後一定ノ場所ニ投棄セシメ且同患者所用ノ被服、什器等ハ健康者ノ

0823

使用スルモノト區別シ其ノ使用ノ終リタル後ハ消毒スルコトヲ要ス

前項ノ消毒ノ方法ニ關シテハ海軍傳染病豫防規則ニ依ル但シ藥物ヲ以テ唾痰ヲ消毒スルニハ石炭酸水(液狀石炭酸三十立方糶ニ水一立)ヲ使用スルモノトス

第三節 選兵醫務

第四十九條 軍醫科士官ハ海軍ニ志願スル者ノ身體検査ヲ命ゼラレタルトキハ海軍志願者身體検査規則及海軍身體検査手續ニ依リ検査ヲ施行シ合格、不合格ヲ定メ海軍身體検査證(第二十七様式)及身體検査成績表(第二十八様式)ヲ調製シ左ノ各號ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

一 生徒志願者ノ海軍身體検査證ハ當該學校長ニ、身體検査成績表ハ一通ヲ生徒採用試験委員長ニ、二通ヲ醫務局長ニ送付ス

二 志願兵飛行兵ヲ除ク豫備練習生(航海科及機關科)及豫備補習生志願者ノ海軍身體検査證ハ當該海兵團軍醫長ニ之ヲ送付ス

海兵團軍醫長ハ整備兵志願者中採用者ニ對スルモノハ海軍航空機搭乗者搭乗身體検査ヲ施行スル海軍航空隊軍醫長ニ、軍樂兵志願者中採用者ニ對スルモノハ横須賀第一海兵團軍醫長ニ之ヲ送付ス

達

海軍航空機搭乗者搭乗身體検査ヲ施行スル海軍航空隊ノ軍醫長ハ搭乗身體検査ニ於ケル不合格者ノ海軍身體検査證ハ速ニ當該海兵團軍醫長ニ之ヲ返送ス

三 飛行兵志願者ノ海軍身體検査證ハ海軍航空機搭乗者搭乗身體検査ヲ施行スル海軍航空隊ノ軍醫長ニ之ヲ送付ス

四 志願兵、豫備練習生（航海科及機關科）及豫備補習生ノ身體検査成績表ハ所屬鎮守府ノ軍醫長ニ之ヲ送付ス

五 士官、候補生、學生、同候補者、造船、造機、造兵生徒及豫備員志願者ノ海軍身體検査證ハ醫務局長ニ之ヲ送付ス

前項ノ場合ニハ身體検査成績表ヲ調製スルニ及バズ

軍醫科士官一人ニテ検査スベキ人員ハ一日約三十五人ヲ標準トス

第五十條 海兵團軍醫長ハ採用兵員入團ノ際ニハ數日中ニ海軍身體検査規則及海軍身體検査手續ニ依リ身體検査ヲ終了シ左ノ各號ニ依リ之ヲ處理スルモノトス

一 志願兵（飛行兵ヲ除ク）ニ對シテハ海軍志願兵令施行規則第五十一條第一項ノ規定ニ該當スル者アルトキハ海軍身體検査證ヲ添ヘ海兵團長ニ報告ス

0825